

【研修レポート】

南アルプス市 上下水道局 工務課 芦沢 颯真

研修名……………実施設計コース管きょ設計Ⅰ（第1回）

研修期間……………7月24日～8月4日

研修先……………埼玉県戸田市 日本下水道事業団研修センター

参加人数……………37名

1. 自己設定目標と達成

（1）研修参加に際して自分が設定した目標

- ① 下水道管きょ設計の基礎知識を習得。
- ② 他の研修生と交流を持ち、他の市町村との繋がりを強める。

（2）目標について達成度合

- ①管きょの設計をしていく中で、特に「現場踏査及び設計図作成実習」、「土留め工の工法選定」、「積算演習」がとても勉強になった。

「現場踏査及び設計図作成実習」では、図面作成までの手順が確認できた他、マンホール番号の決め方や、数字や文字、記号の書き方など大変参考になる内容であった。

「土留め工の工法選定」では、土留め工法を選定するために、N値や地下水位などのことを考慮して選定するなど、土留め工について学べた。

「積算」では、工事費の構成から、計算の方法までの演習を行い、普段自分では計算しないような費用まで理解できた。

- ② 今回の研修を通して多くの人と出会い、他の市町村の下水道の事情や情報などを知ることができた。さらに、多くの人と関わることができたことで、他の市町村との絆を深めることができた。

2. 今後の業務への反映について

（1）自己業務への反映

- ・現場における管きょの布設に対する考え方
- ・平面図・縦断面図の作成における書き方
- ・土留め工法の選定
- ・積算における費用の考え方

（2）組織へのフィードバック

- ・配布テキスト等の共有・情報提供

3. まとめ

・今回の研修を通して、下水道の管きょ設計に対する理解度が深まった。しかし、研修時間のみではすべてを理解することは難しかったため、テキスト等を確認しながら今後の業務に活かしていきたいと思う。